

令和4年度 予算のお知らせ

健康保険

経常収支で5億7,290万円の大幅な赤字予算となりました

● 予算編成の背景

わが国の高齢化は、世界に類を見ないスピードで進行しています。今年は人口のボリュームが多い団塊の世代が後期高齢者となり始める「2022年危機」が到来する年であり、高齢者医療制度のために健保組合が国に支払う納付金が増大し、健保財政が急激に悪化することが危惧されています。

健康保険組合連合会では、こうした状況を受け、後期高齢者の医療費2割負担の早期実施とともに、適用範囲の拡大など、継続的な検討が必要であると訴えています。国民皆保険制度の持続性を確保するためには、現役世代に過度に依存する制度から全世代で支え合う制度への転換の早期実現に向け、社会情勢の変化等に対応した世代間のアンバランスを是正し、現役世代の負担軽減を図ることが喫緊の課題であると主張しています。

● 予算の概要

当健保組合の令和4年度予算は、総額58億7,196万円、実質的な収支状況を見る経常収支で5億7,290万円の赤字を計上する非常に厳しい編成となりました。

主な収入は、皆さまと事業主に納めていただく保険料で、50億9,658万円（前年度比6,239万円増）を見込んでいます。

一方、主な支出を見ますと、皆さまの医療費に充てられる保険給付費29億5,917万円（同1億1,666万円増）、高齢者医療を支えるために高齢者医療制度へ支払う納付金22億3,361万円（同4,864万円増）となっています。この2つの支出のみで保険料収入を約1億円超過する厳しい財政運営が見込まれますが、収入の不足分は前年度決算からの繰越金5,000万円、積立金からの繰入金5億3,000万円で補填することとし、令和4年度の保険料率は据え置くことといたしました。

当健保組合では、引き続き事務経費の節減に努めるとともに、第2期データヘルス計画に基づき、健診結果やレセプト（診療報酬明細書）データを活用し、効率的かつ効果的な疾病予防事業を実施し、皆さまの健康維持・増進を強化してまいります。皆さまにおかれましては、年に1度健診を受け、健康管理にお役立ていただきますとともに、医薬品はジェネリックをご選択いただくなど、引き続き医療費節減にご理解とご協力をお願いいたします。

介護保険

健保組合では、40～64歳の被保険者（介護保険第2号被保険者）から介護保険料を国に代わって徴収し、国に納付しております。令和4年度は、介護納付金6億2,207万円に対し、介護保険収入は5億3,836万円となる見込みです。収入の不足分は繰入金1億1,000万円で補填します。

収入

科目	予算額(千円)	介護保険第2号被保険者1人当たり額(円)
介護保険収入	538,355	96,135
繰入金	110,000	19,643
雑収入	3	—
合計	648,358	115,778

支出

科目	予算額(千円)	介護保険第2号被保険者1人当たり額(円)
介護納付金	622,069	111,084
介護保険料還付金	1,000	179
積立金	1	—
予備費	25,288	4,516
合計	648,358	115,778

令和4年度
収入支出予算総額
58億7,195万8千円

※（ ）内は「被保険者1人当たり額」

